

有明海の公共用水域水質測定における採水層の状況

(1) 全亜鉛

平成 25 年度～平成 27 年度の公共用水域水質測定結果によると、有明海全域では 31 地点で測定が実施されており、このうち 21 地点 (68%) が「表層のみ」、10 地点 (32%) が「表層+底層」で測定が実施されている。(図-1)

なお、底層の水深は 1.1m～13.0m の範囲であった。

底層で測定が実施されているのは、湾奥の福岡県沿岸の水域のみである。(図-3)

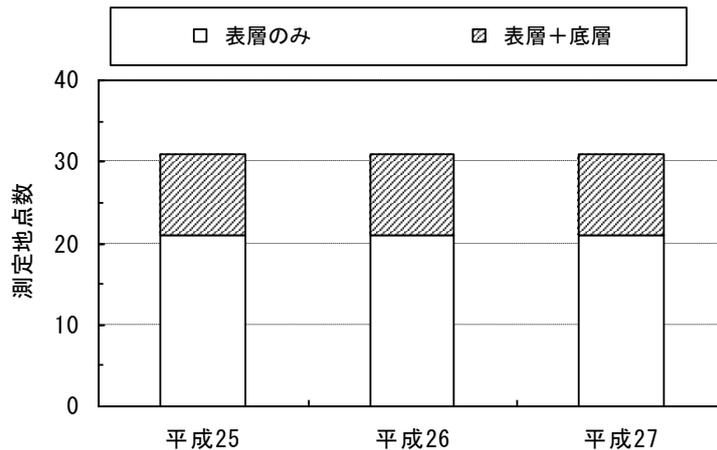


図-1 近年の全亜鉛の採水層別測定地点数

(2) 全窒素・全りん

平成 25 年度～平成 27 年度の公共用水域水質測定結果によると、有明海全域では 50 地点で測定が実施されており、このうち 36 地点 (72%) が「表層のみ」、12 地点 (24%) が「表層+底層」、2 地点 (4%) が「表層・中層・底層」の 3 層で測定が実施されている。(図-2)

なお、中層の水深は 5m、底層の水深は 1.1m～16.0m の範囲であった。

底層の測定が実施されているのは、湾奥の福岡県沿岸の水域と諫早湾の潮受堤防前面水域のみである。(図-4)

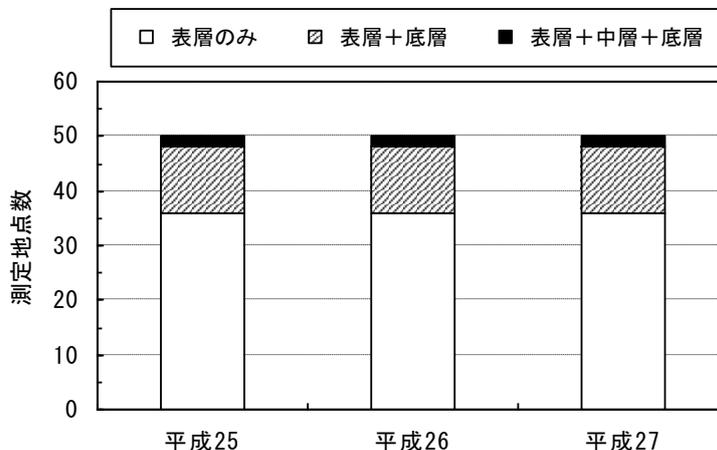


図-2 近年の全窒素・全りんの採水層別測定地点数

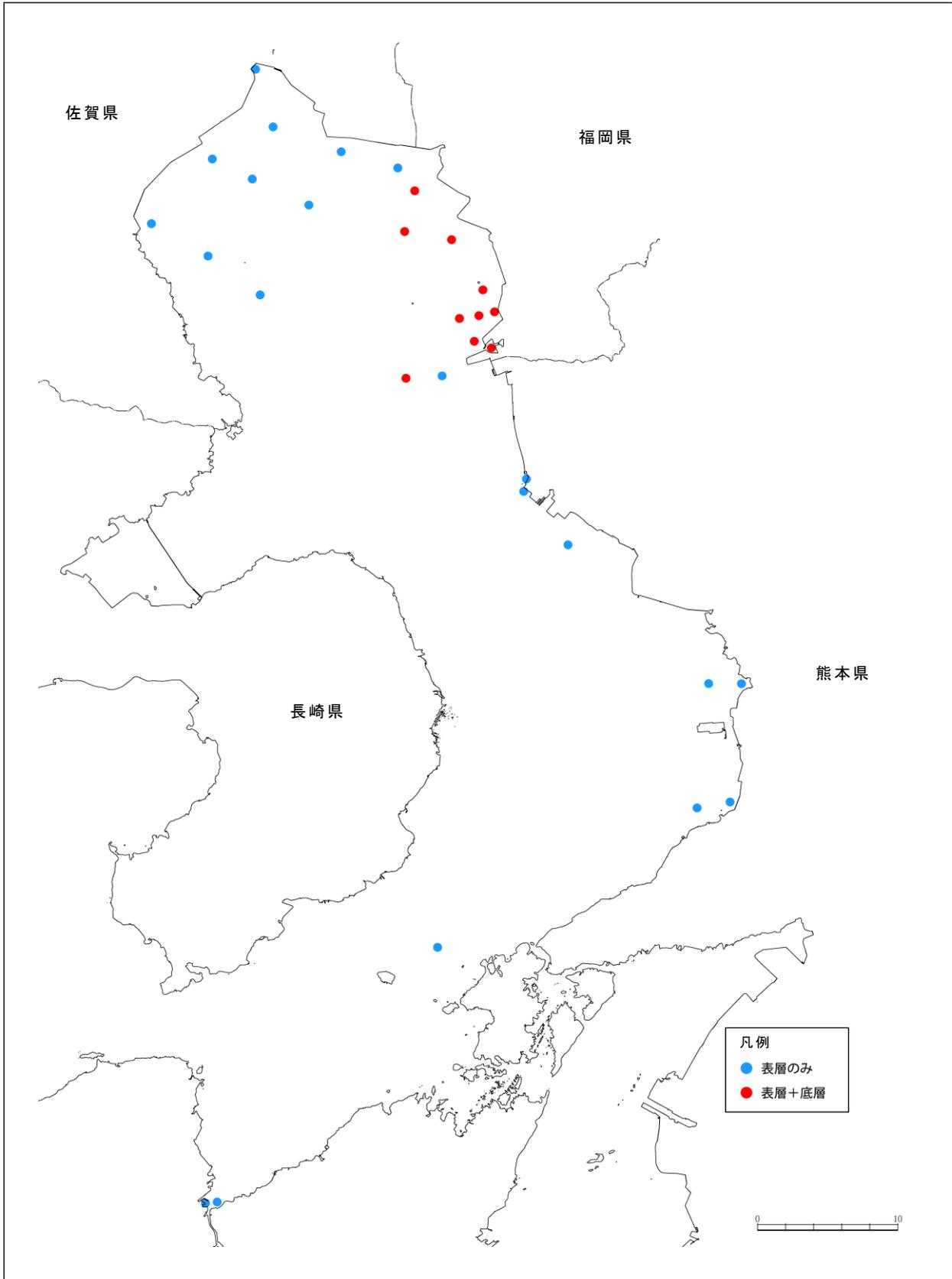


図-3 全亜鉛の採水層別測定地点の分布

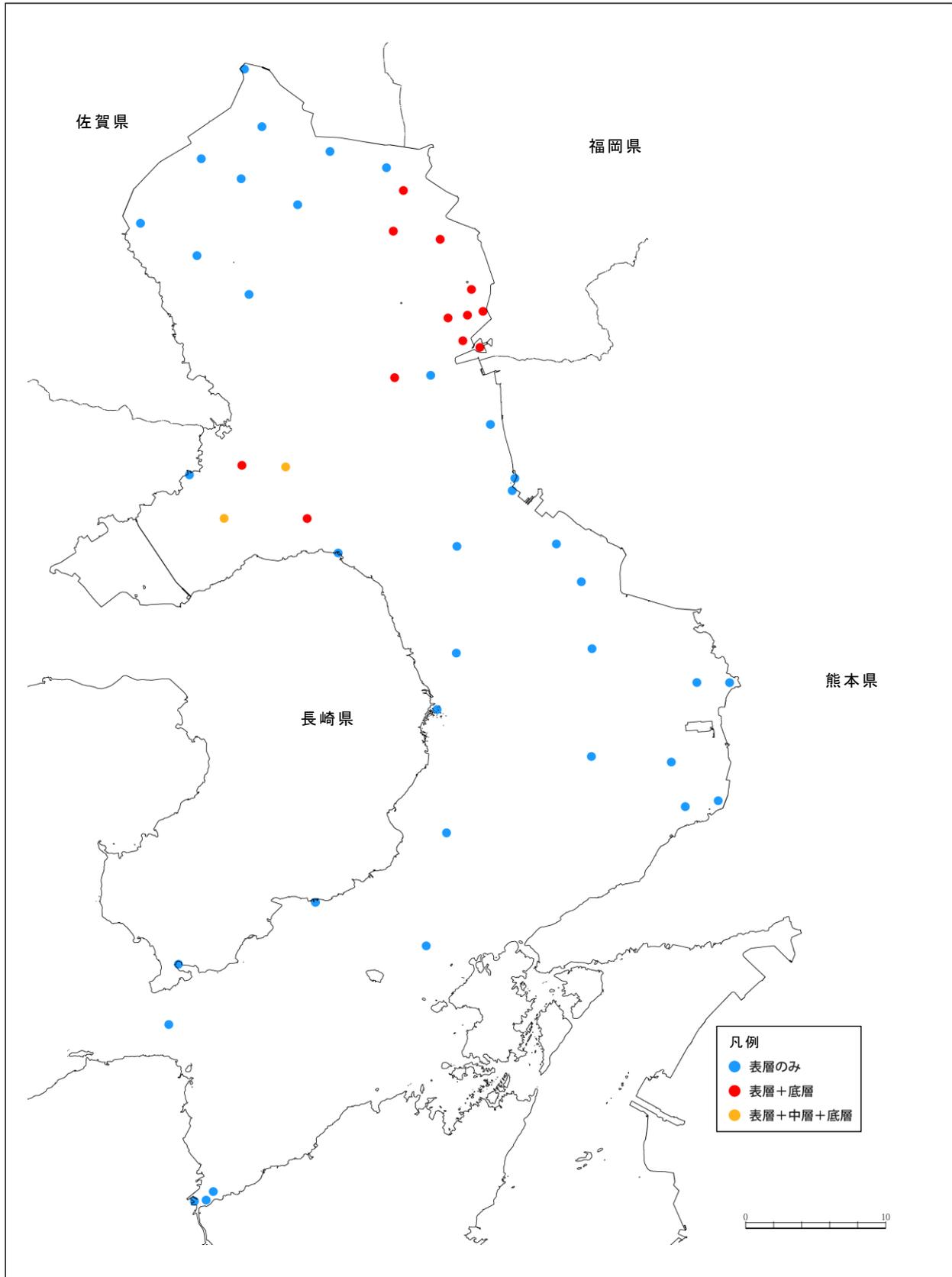


図-4 全窒素・全りん の採水層別測定地点の分布

